Engineer

RSS

Atomより先に登場した、XMLによるフィード形式

どのようなものか

RSSは、フィードを公開するXML形式です。サイトを説明する一つの `channel` 要素の中に、リンク、日付、本文を持つ投稿を表す `item` 要素の一覧を収め、フィードリーダーが定期的に取得するアドレスで公開します。仕様は名前をReally Simple Syndicationと綴っていますが、形式に関係なくフィードを「RSSフィード」と呼ぶ人も多くいます。RSS 1.0、すなわち「RDF Site Summary」は、現在使われる形式の古い版ではなく、RDFに基づく別の形式です。

この形式はNetscapeで始まり、同社がRSS 0.90を1999年3月、0.91を同年7月に公開しました。UserLandは独自の0.91を2000年6月に公開し、続いて0.92、2002年8月にはRSS 2.0を公開しました。Harvard Law SchoolのBerkman Klein Centerは、Dave Winerが書いた2.0.1を2003年7月に公開し、それ以降、RSS Advisory BoardがCreative Commonsライセンスの下で仕様文書を維持しています。ロードマップは、実用上、形式を2.0.1で凍結したとしています。その後も委員会は文書を改訂し、現行の版は2009年3月のものですが、新しい要件にはRSSの新版ではなく、独自のXML名前空間を持つ拡張で対応します。

文書の構造は小さなものです。ルートは `rss` 要素で、 `version` 属性は `2.0` でなければならず、その中に一つの `channel` を置きます。チャンネルには `title` 、 `link` 、 `description` が必要です。項目の各要素は任意ですが、表題か説明の少なくとも一方は必要です。それ以外は、 `pubDate` や `guid` から、チャンネルの `image` や `ttl` まで、発行者が必要なものを入れます。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<rss version="2.0">
  <channel>
    <title>Example Notes</title>
    <link>https://example.com/</link>
    <description>Short notes on running servers.</description>
    <item>
```

```
      <title>Moving the database</title>
      <link>https://example.com/notes/db-move/</link>
      <guid isPermaLink="true">https://example.com/notes/db-move/</guid>
      <pubDate>Sat, 17 Oct 2026 09:00:00 GMT</pubDate>
      <description>Why the move took one evening.</description>
    </item>
  </channel>
</rss>
```

概念を判断に生かす

「RSSとは？」を実際の判断に生かしましょう。その概念を、開発または購入するシステムに結び付けて考えるお手伝いをします。 表示が速く、検索で見つけやすく、文章を変えるたびに料金が発生せず、自社の担当者が編集できるサイトをつくります。

サービスを見る お問い合わせ →

用語の背後にある前提を検証する

解説とリンク先の実績を参考に、プロジェクトについての質問を整理してください。ツールを選ぶ前に、前提を一緒に検討できます。 HTML/HTML5でWebアプリケーション100個を開発 — 100 構築したWebアプリケーション

HTML/HTML5でWebアプリケーション100個を開発 お問い合わせ →

なぜ重要なのか

RSSの仕様は緩やかで、発行者はその緩やかさを理解する必要があります。項目の `description` には、プレーンテキストも、要素内にエスケープして入れたHTMLも格納でき、ファイルにはどちらかを示すものがないため、リーダーが判断します。 `guid` は任意なので、なければ、項目が新しいかをリーダー自身が判断します。日付は、メール標準RFC 822（1982年）に従い、 `Sat, 17 Oct 2026 09:00:00 GMT` のように、英語の曜日名と月名を含む文字列で書きます。仕様は、今でも2桁の年を認めています。また、ベースURLを宣言する手段がないため、項目内の相対リンクには、確実な解決の基準がありません。

これに対する委員会の回答が、2007年10月公開のRSS Best Practices Profileです。幅広い読み取りソフトウェアで動く文書のための推奨事項をまとめています。各項目への `guid` と、リンクおよび説明中の絶対URLを求めています。また、試験したすべてのアグリゲーターが扱えた日付形式は、末尾が `GMT` 、 `+0000` 、 `-0000` となる世界時だけだったと報告しています。フィード自身のアドレスを示す `atom:link` に `rel="self"` を付ける方法も説明しています。このプロファイルに従ったフィードなら、リーダーが推測する必要は大きく減ります。

現在のフィードで加えられる内容の大半は、二つの拡張が担います。 `atom:link` は、Atomからその要素を借ります。 `content:encoded` は、もともとRSS 1.0向けに書かれたモジュールに由来し、項目のHTML全文を格納します。プロファイルは、全文を `content:encoded` 、短い要約を `description` に入れて併用する方法を説

明しています。また、両方がある項目では、試験した8種類のアグリゲーターのうち6種類が、`content:encoded`を表示して要約を無視したと報告しています。`enclosure`要素は、三つの必須属性、`url`、バイト単位の`length`、MIME形式を示す`type`で、項目にメディアファイルを添付します。

凍結されていることは、強みでもあります。2003年以来変わらない形式なら、実装の対象が固定され、今日その形式で書いたフィードも、何年も前に同じ仕様に基づいて書かれたソフトウェアで読めます。Atomは、上記の不足の大半を仕様で解消しています。そのため、RSSも併せて公開する理由は、厳密さよりも読者にあります。RSSしか読めないリーダーもあり、何年も前に配ったRSSのアドレスも、今なお定期的に取得されています。

実際の活用例

このサイトは、AtomフィードとJSON Feedに加え、`/ja/index.xml`でRSS 2.0を公開しています。クレジットのページは、XMLフィードを二つ用意する理由を説明しています。三つとも全文を収め、XMLを一つではなく二つにするのは、どちらか一方しか読めないリーダーがあり、常にどちらか一方を選べばよいとは限らないためです。同ページは、Atomと並べてRSSフィードもW3C Feed Validatorへリンクし、誰でもこのサイトの説明を信じるだけでなく、自分で検査できるようにしています。

ターミナルからこのサイトを読むページは、フィードをデータとして扱っています。実績を三つの形式で配信し、各形式が抜粋ではなく、全項目の全文を含むと説明し、RSSを`curl`だけで取得しています。

```
curl -s https://engineer.company/ja/index.xml
```

問題が起きるところ

チャンネルの画像が出ず、検証サービスにも指摘される。 フィード名の横に画像が表示されず、W3Cのサービスが画像形式を警告します。RSSの`image`要素は、三つのフィード形式の中で、画像への制約が最も厳しく、GIF、JPEG、PNGだけを認め、幅は最大144ピクセル、高さは最大400ピクセルです。WebPの共有カード画像は適しません。このサイトのRSSテンプレートは、代わりに144ピクセルのPNGアイコンを`image`に指定しています。隣のコメントには、変更後の再検証によって、WebPカードが`ImageUrlFormat`の警告を招いていたと分かったことを記録しています。

項目の順序が違っても、何も報告されない。 リーダーが新しい項目を古い項目の下に並べたり、誤った日付を表示したりします。RSSの日付は文字列なので、ISO 8601の日付、書式の誤記、別の言語の曜日名でも、XMLとしては正しく、気付くのはリーダーの日付パーサーだけです。Hugoでは、日付の `Format` メソッドは英語名を書き、 `time.Format` 関数は言語に合わせます。デンマーク語の `pubDate` は、RFC 822の日付ではありません。このサイトは、Atom用の書式とともに一つの部分テンプレートに置いた書式を使い、メソッドで各 `pubDate` を整形しています。そこのコメントは、どちらかの誤記がビルドの失敗ではなく、誰かのリーダーで誤って解析・整列されるフィードを生むと説明しています。

投稿のアイコンが出ず、検証サービスがエラーを並べる。 `content:encoded` の全文は元のページから離れるため、ページに依存するものは失われます。ページ内の別の場所に定義したスプライトを参照するSVGアイコンは、リーダーでは何も描かず、W3Cのサービスは `svg` 自体も指摘します。そのため、このサイトのフィードでは、ブランドの歯車の区切りを付けずに見出しを渡します。そのテンプレートのコメントには、検証サービスが `Non-html tag: svg` を12件、 `role` 属性に関する指摘を6件報告したと記録しています。

投稿内のリンクが、どこにもつながらない。 購読者が項目内のリンクをたどると、存在しないページに着いたり、何も開かなかったりします。 `/notes/` のようなルート相対リンクは、ブラウザーがページのアドレスを知っているため、ウェブページ上では機能しますが、RSS文書はベースURLを宣言できません。プロファイルは、説明に相対URLを含めるべきではなく、アグリゲーターは、チャンネルの `link` を基準に解決を試みてもよいとしています。試みないリーダーでは、壊れたリンクのままです。フィードのHTML内では、すべてのリンクを絶対URLにします。

同じ語を持つ二つのカテゴリーが、一つに見える。 二つの語彙でタグ付けした項目に、同じ用語が二度表示されたり、意味の異なる二つの用語をリーダーが統合したりします。RSSの `category` 要素には、用語が属する語彙を示す任意の `domain` 属性があります。このサイトのRSSテンプレートは、すべてのカテゴリーに付けています。コメントが説明するように、domainがなければ、二つの語彙で重なる用語が重複して見えるためです。

参考資料

- RSS 2.0仕様 — RSS Advisory Boardによる、要素ごとの形式の説明と、凍結を宣言するロードマップです。
- RSS Best Practices Profile — 実際のアグリゲーターの試験結果を含む、委員会の推奨事項です。

- RSSの歴史 — Netscapeの0.90から現行文書まで、各版の日付と公開者を記録しています。
- RDF Site Summary（RSS）1.0 — 同じ名前を使う、RDFに基づく別の形式です。
- RFC 822 — RSSが今も日付と時刻の構文に使う、1982年のメール標準です。

用語集

実際の制約に合わせて選ぶ

業務の流れ、既存のインターフェース、変更を必要とする利用者をお知らせください。検証可能な納品内容と、お客様のチームが保守を続けられる引き継ぎ内容を定められます。

料金を見る お問い合わせ →

用語を実務に結び付ける

「RSSとは？」がお客様の組織にどう当てはまるかをご相談ください。現在のシステムの具体例が一つあれば、話を始められます。

サービスを見る

welcome@engineer.company +45 50 10 61 84 デンマーク、コペンハーゲン

このページを持ち歩く 連絡先カード

心を込めて丁寧に制作： D.

CVR 45969703 · Tagensvej 105C, 3. th, 2200 København N

著作権 © 2025 – 現在 · Engineer ApS · すべての権利を留保します。

印刷元： https://engineer.company/ja/glossary/rss/